

10月から午後の作業!

暑さ対策として、8・9月の作業開始時間を午前9時からとしていましたが、10月からは従来通り午後の作業となります。(第3週は土曜の9時から)近年の気候を考えると、7・8月を午前中作業にした方が良いのではと思います。来年度以降について、皆さんのご意見をお聞きかせ下さい。

“キクラゲ” 生える

昨年秋に植菌したキクラゲが、先日たくさん生えました。竹下会長が原木を取り出して、皆に披露しました、会員の中には、初めて見る者もおり「それは、なんですか?」と聞いていました。キクラゲは、茸の一種で、中国はじめ、台湾、韓国、日本など主として東アジアで食料として親しまれています。特に中華料理や豚骨ラーメンの具として利用されています。家庭料理で、汁の具材としてもおいしく食べられます。



田和山で栽培したキクラゲ

田和山の樹木 第4回 檜とアスナロ

針葉樹の第4弾は、ヒノキとアスナロにしました。ヒノキは、田和山の南側の勝負交差点の精米機が置かれている場所の上部の斜面に約0.1haがまとまって生育しています。樹齢は約40年でスギとほぼ同じ時期に植栽されたものです。あとはスギ林の中に点在してみることが出来ます。その樹形はスギと同じで円錐形ですが、スギよりは柔らかな感じがしており、区別することが可能です。樹皮は赤かつ色で、幅広の裂状(写真1)となっています。ヒノキの樹皮は、樹齢が80年生以上の立木から採取されたものが檜皮茸きの材料に用いられています。出雲大社の遷宮に使われています。

田和山のアスナロは、2017年に植栽したものです。葉の形状はヒノキとよく似ていますが、肉厚で区別が出来ます。また、その違いは葉の裏側の「気孔線」で解ります。ヒノキは白いY字形、アスナロは幅広でよく区別が付きまます。(写真2左がヒノキで右がアスナロ)

アスナロ「明日はヒノキになろう」の意味でアスナロ(翌檜)とも言われています。アスナロには抗菌性のある「ヒノキチオール」が存在する事で注目されていますが、ヒノキにはほとんど含まれていません。



写真 2



写真 1

松江市功労者表彰

松江市では、今年が市制施行130周年に当たり、記念事業として各種の表彰が行われます。そのうちの功労者表彰(一般)として「里山を育てる会」も受賞することになりました。永年の取り組みが認められ有難いことです。この受賞を祝い、下記のように祝賀会を計画しましたのでお知らせします。なお、詳細については後日連絡します。

記

祝賀会について

期日: 11月10日(日) 18時から20時まで

会場: 乃木公民館「大会議室」

準備: 15時から(予定)

森の彼岸花

今年も田和山に彼岸花が咲きました。例年より一週間程遅い開花でしたが、白花もまじり、あちこちにきれいに咲きました。曼珠沙華ともいい、写真愛好家にとっては格好の被写体です。以前、日高市の「巾着田」を見に行きましたが、川に囲まれた22ha程の土地一面に花が咲き見事なものでした。地元の人たちが芋を植えて増やしたもので、熱心に管理していました。



森の入り口に咲いた彼岸花

○ 今後の活動予定

10月11日(金) 13:30~、19日(土) 9:0~、25日(金) 13:30~

11月1日(金) 13:30~、8日(金) 13:30~、10日(日) 準備・祝賀会[午後]、16日(土) 9:00~

22日(金) 13:30~、29日(金) 13:30~ 12月21日(土) 9:00~仕事納め